

駒ヶ根民報

No.1349

2015, 11. 8
日本共産党
駒ヶ根市委員会
Tel 83-2969

子育て支援、医療・介護の先進地、 島根県吉賀町、広島県尾道市を行政視察

共産党駒ヶ根市議団

駒ヶ根市議会共産党議員団（坂本裕彦議員、竹村誉議員）は10月19日から3日間行政視察しました。

始めの訪問地の島根県吉賀町は、広島駅からバスで2時間のところす。

吉賀町は子育てを全力で応援する施策に取り組んでいきます。

医療費、保育料、給食費、完全無料

高校卒業までの子どもにかかる医療費の自己負担部分について、全額助成をしており、町内はもちろん島根県内での窓口負担はありません。

保育料は平成27年度より完全無料になりました。また小学生に上がるまで一時保育も休日保育も無料です。

給食費も平成27年度より無料化になりました。地産・地



2年経過後に10万円。3年経過後に10万円を給付しています。

これらの施策の結果0歳児の保育所入所では平成25年・26年度には15人だったのが2年の2月には33人になり、した。

この施策は子育て家庭に喜ばれていて出生数も増えています。

財源は過疎債ソフト事業とまちづくり基金を活用し、一般財源は毎年1700万円ほどを使っています。

過疎債という財源はありますが近隣でもやっていない施策の推進は、地域の未来に希望が持て、活性化に期待が持てるものと、思い切った施策の展開は参考になりました。

公立みつぎ総合病院を核とした、地域包括ケアシステムの構築

広島県尾道市御調町にある、公立みつぎ総合病院を訪問し視察しました。

御調町が合併して尾道市になり町立から公立になりました。元院長の山口昇医師が、地域包括ケアシステムの構築を、国に提言し平成1年に御調町で完成し国を動かしました。

地域包括ケアシステムを一言でいえば医療にとどまらず、保健(予防)・介護・福祉を一体

的に提供するシステムであり、また、病院にとどまらず、介護関連施設、在宅との連携を目指すものとのことです。

尾道市には6か所の地域包括支援センターがあり、そのうちの1か所である尾道市北部地域を公立みつぎ総合病院が運営委託を受けています。

保険福祉総合施設は、保健・医療・介護・福祉サービスを一体的に提供する一貫として機能しています。

- 老人保健施設みつぎの苑 入所定員150人、通所リハビリ(デイケア)40人
- 特別養護老人ホームふれあい、定員100人
- デイサービスセンター
- リハビリテーションセンター、定員19床
- ケアハウスさつき、30人
- グループホームかえで、定員18人

ここに勤務する職員はすべて病院の職員であり、ここでの収益も病院会計の中に入っています。

病院の事業会計は、医療保険と介護保険にまたがっており、医療収益の4分の3が医療保険、4分の1が介護保険であり、年間全収益は約60億円とのこと。御調町の時代から、自治体の一般会計からの特別な繰り入れはありません。市の福祉担当部門もこの施設の中にあります。

設の中にあります。病院が核となつての地域包括システムを支える重要性を実感しました。

宮田村の廃棄物処分場建設計画に反対

宮田村における廃棄物最終処分場計画について、市議会全員協議会に説明されました。

南箕輪村にある会社が、大田切川下流の北、大久保地籍に、一般廃棄物、産業廃棄物、基準値以下の放射性物質を含む焼却灰、汚泥を埋め立てる計画です。長野県の廃棄物の処理施設の設置等に係る指針に周辺地域の範囲があり、1キロメートルとされており、下平区、町4区、東伊那区が該当します。

市の今後の対応について、地元住民の意思を十分聞きとめ住民の意向を聞き入れて、宮田村と連携しながら対応していくとしています。

宮田村村議会議長から、駒ヶ根市議会に、処分場建設反対に対する協力要請があり、伊南としても大きな運動、声も上げてとの文書です。駒ヶ根市議会としても全員の賛成で取り組むことにしました。

下平、東伊那、町4区の3区が呼びかけ、一心館で学習会が行われ200人が参加。環境を守るために住民の皆さんに今後の協力を呼びかけました。